

学校給食食材の放射性物質の測定検査の結果について（第 18 回）

検査は株式会社同位体研究所に依頼し、検査手法は放射性ヨウ素（I-131）と放射性セシウム（Cs-134、137）を判別して測定する核種検査としました。

検査の結果、茨城県産の蓮根については、セシウムが検出されましたが、食品衛生法の放射性セシウムの基準値を大幅に下回っています。

茨城県産の蓮根は使用を控え、11月14日の中学校の蓮根ひじき煮と11月20日の小学校の蓮根サラダは、蓮根を抜きひじき煮とポイルサラダに変更します。

1. 測定日 11月7日
2. 検査機関 株式会社同位体研究所
3. 検査結果

品目	産地	放射性物質の濃度 (Bq/kg)				
		ヨウ素 (I-131)		セシウム (Cs-134)		セシウム (Cs-137)
		実測値	基準値	実測値	基準値	実測値
生なめこ	長野県	ND (<0.7)	100	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)
蓮根	茨城県	ND (<1.0)	100	1.5 (0.9)	100	4.2 (0.9)
民間流通米 あきたこまち	山形県 (平成 25 年産)	ND (<0.8)	100	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)
特別栽培無洗米 こしひかり	長野県 (平成 25 年産)	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)	100	ND (<0.9)
特別栽培米 あきたこまち	秋田県 (平成 25 年産)	ND (<0.9)	100	ND (<0.8)	100	ND (<0.9)
さば	青森県	ND (<1.0)	100	ND (<0.8)	100	ND (<1.0)

※括弧内の数値は定量下限値で、ND は定量下限値にて不検出を意味します。